

岩手県職労

月2回刊=1418号
2014年8月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

退職後が楽しみだ

と考える 幸せを実現します

そろそろ退職後が心配になっていませんか？
アナタには退職後に向けて今から備えられる強い味方がついています。

在籍中は月々1口3000円から掛金を積み立てて
退職後の「年金」「医療」「遺族」給付を退職する時に選択

お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じろの長期共済

全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労共済生活協同組合

達増知事 「問題意識は共有する」

県公務労協が総合的見直しで知事要請

岩手県公務労協が総合的見直しを要請する。自治労本部委員長(左)は6日、「給与制度の総合的見直し」に関して達増知事に要請書を提出し、意見交換を行った。

要請にあたり齋藤議長は、「総合的見直しは、単に公」ということだけでなく、

地域経済に与える影響が極めて大きい。ぜひ私たちの

意を汲んでいただき、制度の導入に反対の姿勢で対応いただきたい」と述べ、本県において総合的見直しを



労使間の協議と合意前提を要請する平中県職労委員長(左奥)



達増知事に対して「総合的見直し」に関わる要請書を手渡す、齋藤議長



人動内容で意見を交わした第1回拡大闘争委員会

県職労は8日、自治労本部会議室で第1回拡大中央闘争委員会を開催した。委員会では、7日に出された人事院勧告の概要を確認するとともに、県人事委員会勧告に向けた取り組みの柱や闘争体制の確立などについて意見を交わした。

「答申」に向け議論スタート
組財強委員長に及川隆浩さんを選出

【お詫びと訂正】
機関紙7月30日号・支部体制確立記事の中で、一関支部執行委員の「吉田治」さんの名前が間違っており訂正してお詫びいたします。

第1回拡大中央闘争委員会
具体的戦術等は中闘委に委譲

今年度の勧告は7年ぶりの改善勧告となり、久々の年取増が見込まれるが、人事院が勧告を強行した「給与制度の総合的見直し」が実施されると、来年4月以降は大幅な給与削減が行われることからの、県人事委員会

今年度の勧告は7年ぶりの改善勧告となり、久々の年取増が見込まれるが、人事院が勧告を強行した「給与制度の総合的見直し」が実施されると、来年4月以降は大幅な給与削減が行われることからの、県人事委員会

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

長時間労働に不払いの実態、退職に追い込む労務管理。今問題になっているブラック企業の実態である。明らかに労働基準法違反、労災認定であるにも関わらず、指摘される企業は非を認めない。優秀な人材を確保するためとして、挫折した労働者は退職に追い込む労務管理。雇用され続けるため、3000時間を超える働き方を研修において強要する。こんなことが当然のことのように行われている。雇われる側が「おかしい」と言えない現実。まさに民主主義がないがしろにされている。▼同様の現実が、本来民主主義を築くべき政治の世界でも存在している。特定秘密保護法の強行成立や集団的自衛権の行使容認など反動的な政治を「選挙の信任を受けた」として政権が強行する。そこには議論も無く、国民の声すら反映されない。国民に民主主義が与えられていなかった戦前と同じと言っても言い過ぎではない。▼「戦争する国ではない」とトップは言うが、「戦争できる体制」は着実に進んでいる。戦後レジームからの脱却は戦後民主主義の破壊か。69回目の終戦の日を迎え、民主主義を考

「お詫びと訂正」
機関紙7月30日号・支部体制確立記事の中で、一関支部執行委員の「吉田治」さんの名前が間違っており訂正してお詫びいたします。

